

# 14 古代ギリシア

自然 山地が多くて平野が少なく、複雑な海岸線。  
地中海性気候。オリーブ、オレンジ、ブドウなどの果樹栽培。

前2000頃  
エーゲ文明  
前1100頃  
前800  
暗黒時代  
前508  
前431  
前334  
ヘレニズム時代  
前30

オリエン特文明の影響  
エーゲ海周辺  
青銅器文明  
王権の強大な国家  
海上貿易で繁栄

前2000  
〔前期〕 **クレタ文明** 小アジア系  
の発掘 線文字A  
クレタ島 宮殿中心  
前1400

ギリシア人第一波南下 (前2000~)  
← (アカイア人)

前1600  
〔後期〕 **ミケーネ文明**  
ギリシア本土の城塞  
人の文明 線文字B  
前1100

トロヤ文明  
小アジア  
の発掘  
トロヤ戦争

戦い ⇔

(前1200~) ギリシア人第二波南下 (人) ⇔

暗黒時代 移動→定着 の普及 階級の分化がすすむ [ 貴族, , 奴隷]

多数のポリス形成 ①集住 ( ) などにより。 ②アクロポリス, (広場) などがあり, 城壁で防備を固める

貴族政治 ①貴族が政権を独占して, 平民は無権利 ②貴族は としてポリス防衛の主力をなす ③大土地所有者として経済力があつた

アテネ民主政の進展 (平民の参政権要求) ←

植民活動の展開 ・地中海, 黒海沿岸に植民市の建設 [例] , ,  
⇨商工業の発達 ⇨富裕な の出現  
⇨貨幣経済の発達 ⇨平民の がポリス防衛の主力となる

民主政の確立  
前620 の成文法  
前594 調停者 の改革 ( 政治)  
前561 の僭主政治  
前508 の改革 ( の制度, 部族制度の改革)

ペルシア戦争  
★歴史的意義  
第1回 前500 植民市のペルシアへの反乱をアテネが援助したのを機に始まる  
第2回 前492 トラキア・マケドニアがペルシアに屈伏  
第3回 前480 テルモピレーの戦い スパルタ軍全滅  
前480 の海戦に勝利 の率いるアテネ海軍、こぎ手の の活躍。  
前479 の戦い アテネ, スパルタの連合軍が陸戦で勝利

アテネの覇権 同盟の盟主として  
ペルシア戦争後, ペルシアの再攻に備えて結成された軍事同盟

アテネ民主政の完成 ★アテネ民主政の特徴  
市民にも参政権が与えられ市民の平等が完成  
時代 (前443 ~429 )  
将軍職として民主制を完成し, アテネの全盛時代

奴隷制社会  
①生産活動は に依存  
②市民の余暇……文化発達  
と軍事に従事

前431 ~404

ペロポネソス戦争 ( , の覇権争い) アテネ……デロス同盟の盟主  
ポリス社会衰退の契機 スパルタ…… 同盟の盟主  
・スパルタが勝利して覇権を確立 ・ のギリシア世界への干渉

前371 レウクトラの戦い  
スパルタに対し が勝利して覇権を確立

マケドニア王国の台頭 (北方のギリシア人の王政国家)  
前338 の戦い 国王  
アテネの が反マケドニア勢力を結集  
アテネ, 連合軍がマケドニアに敗北

前337 コリント同盟 (ヘラス同盟) の結成 盟主マケドニアが覇権を確立

前336 アレクサンドロス即位  
前333 の戦い ペルシア王 の軍を撃破  
前332 エジプトを征服 ファラオに即位 市建設  
前331 アルベラの戦い ペルシア軍を決定的に撃破  
前330 に出発 を滅ぼす  
オリエン特を征服支配 更にイラン高原・中央アジア・西北インドを征服

アレクサンドロス大王の帝国

前323 バビロンに凱旋。ここで死去  
★統治策の特徴  
★ヘレニズム文化 東西文化の融合  
国際的共通語

ヘレニズム三国の分立  
←ディアドコイ戦争 (後継者争い) 前320 ~275

前301 イプソスの戦い ヘレニズム世界の3分裂が決定的となる

(1) **朝エジプト王国**  
前304 首都  
ヘレニズム世界の中心として繁栄  
前30 に滅ぼされる

(2) **朝シリア王国**  
前312 当初最大の領土, のち縮小  
独立  
前63 ローマに滅ぼされる

(3) **マケドニア王国**  
前306 アンティゴノスが創始  
ギリシア本土を支配  
前168 ローマに滅ぼされる